

主要指標の動き 2026年4月17日時点(1週間前=4月10日、3カ月前=1月17日、6カ月前=2025年10月17日、1年前=4月17日) なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

世界	指標	先週末	騰落率(%)				
			週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	25年末比
世界	世界株価注1	593.25	3.9	3.9	9.9	37.4	6.3
	先進国株価注2	14,969.18	4.0	3.4	8.9	35.6	5.4
	先進国(除く日本)株価注3	17,250.63	4.1	3.4	8.6	35.5	5.1
	新興国株価注4	875.67	3.2	8.0	18.2	52.7	14.2
日本	日経平均株価	58,475.90	2.7	8.4	22.9	70.1	16.2
	JPX日経インデックス400	34,050.48	0.6	3.4	19.2	48.2	10.9
	TOPIX(東証株価指数)	3,760.81	0.6	2.8	18.6	48.6	10.3
	東証プライム市場指数	1,938.48	0.6	2.9	18.8	48.9	10.4
	東証スタンダード市場指数	1,689.86	1.2	3.4	16.1	37.6	9.8
	東証グロース市場指数	1,019.24	3.3	6.6	10.4	23.6	15.3
米国	NYダウ工業株30種	49,447.43	3.2	0.2	7.1	26.3	2.9
	S&P 500種	7,126.06	4.5	2.7	6.9	34.9	4.1
	ナスダック総合	24,468.48	6.8	4.1	7.9	50.2	5.3
	ナスダック100	26,672.43	6.2	4.5	7.5	46.1	5.6
フィラデルフィア半導体	9,555.88	7.5	20.5	41.0	149.3	34.9	
欧州	欧州 ストックス・ヨーロッパ600	626.58	1.9	2.0	10.7	23.7	5.8
	英国 FTSE100	10,667.63	0.6	4.2	14.0	28.9	7.4
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	647.26	2.1	1.9	9.8	25.0	5.7
ドイツ DAX	24,702.24	3.8	▲2.4	3.7	16.5	0.9	
アジア・オセアニア	中国 CSI300	4,728.67	2.0	▲0.1	4.8	25.4	2.1
	中国 上海A株	4,248.33	1.6	▲1.2	5.5	23.6	2.1
	中国 深圳A株	2,871.13	3.5	2.1	14.5	46.0	8.4
	中国 創業板	3,678.29	6.7	9.4	25.3	92.7	14.8
	香港 ハンセン	26,160.33	1.0	▲2.6	3.6	22.3	2.1
	台湾 加権	36,804.34	3.9	17.2	34.8	90.3	27.1
	韓国 KOSPI	6,191.92	5.7	27.9	65.2	150.6	46.9
	シンガポール ST	4,997.93	0.2	3.1	15.5	34.3	7.6
	マレーシア FBM KLCI	1,695.21	0.2	▲1.0	5.5	14.3	0.9
	タイ SET	1,482.45	▲1.6	16.2	16.3	29.9	17.7
	インドネシア ジャカルタ総合	7,634.00	2.4	▲15.9	▲3.6	18.6	▲11.7
	フィリピン 総合	5,999.13	▲1.6	▲7.2	▲1.5	▲2.2	▲0.9
	ベトナム VN	1,817.17	3.8	▲3.3	5.0	49.3	1.8
	インド SENSEX	78,493.54	1.2	▲6.1	▲6.5	▲0.1	▲7.9
豪州 S&P/ASX200	8,946.93	▲0.2	0.5	▲0.5	14.4	2.7	

- 注1 世界株価指数 : MSCIオルコトワールド・インデックス(米ドルベース、税引後配当込み)
- 注2 先進国株価指数 : MSCIワールド・インデックス(米ドルベース、税引後配当込み)
- 注3 先進国(除く日本)株価指数 : MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドルベース、税引後配当込み)
- 注4 新興国株価指数 : MSCIIマシニング・マーケット・インデックス(米ドルベース、税引後配当込み)
- 注5 日本国債指数 : FTSE日本国債インデックス(円ベース)
- 注6 先進国(除く日本)国債指数 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)
- 注7 新興国債券指数 : JPエリガ・インターナショナル・インデックス(米ドルベース)

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

中 南 米 他	指標	先週末	騰落率(%)				
			週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	25年末比
中 南 米	ブラジル ボベスバ	195,733.51	▲0.8	18.8	36.5	51.0	21.5
	メキシコ IPC	69,825.94	▲0.3	4.0	13.1	31.7	8.6
他	南アフリカ FTSE/JSEアフリカ全株	121,249.40	1.9	0.9	9.5	35.5	4.7
債券	日本国債注5	292.77	0.3	▲1.1	▲4.9	▲7.7	▲2.2
	先進国(除く日本)国債注6	1,086.06	0.9	1.5	1.6	5.5	1.2
	新興国債券注7	943.42	1.3	2.5	4.5	13.9	3.0
	日本国債2年物	1.372	-0.037	0.166	0.459	0.714	0.194
	日本国債10年物	2.424	-0.014	0.234	0.793	1.108	0.358
	日本国債20年物	3.275	-0.055	0.109	0.636	1.031	0.291
	日本国債30年物	3.634	-0.009	0.140	0.504	0.958	0.233
	米国債2年物	3.709	-0.089	0.121	0.251	-0.091	0.234
	米国債10年物	4.250	-0.069	0.026	0.240	-0.076	0.081
	米国債20年物	4.854	-0.046	0.065	0.277	0.021	0.060
利回り*	米国債30年物	4.886	-0.025	0.048	0.280	0.087	0.041
	ドイツ国債2年物	2.408	-0.194	0.297	0.499	0.722	0.286
	ドイツ国債10年物	2.960	-0.098	0.125	0.380	0.488	0.105
	イタリア国債10年物	3.678	-0.165	0.224	0.300	0.033	0.127
	スペイン国債10年物	3.389	-0.127	0.169	0.282	0.218	0.101
	東証REIT(配当込み)	5,215.61	0.6	▲5.6	1.6	17.9	▲3.0
	グローバル注8(米ドルベース)	843.04	3.7	6.5	9.7	21.2	10.5
	REIT指数注8(ハッジなし円ベース)	1,023.41	2.9	6.4	15.2	34.5	11.3
	香港REIT注9	644.19	▲0.7	7.6	▲0.0	19.0	8.7
	オーストラリアREIT注9	1,220.59	2.8	▲10.1	▲12.9	4.3	▲9.7
商品など	北海ブレント原油先物	90.38	▲5.1	40.9	47.5	33.0	48.5
	WT原油先物	83.85	▲13.2	41.1	45.7	29.6	46.0
	ニューヨーク金先物	4,879.60	1.9	6.2	15.8	46.6	12.4
	CRB指数	362.78	▲1.8	20.1	23.7	22.4	21.4
	シンガポール鉄鉱石先物	105.80	2.2	▲0.5	1.8	8.2	0.4
	S&P MLPトータルリターン指数	11,466.20	▲2.8	9.1	22.3	19.5	15.0
	S&P BDCTトータルリターン指数	400.90	7.0	▲5.6	1.2	▲0.2	▲3.9
	ビットコイン	77,369.96	5.4	▲18.8	▲27.7	▲9.1	▲11.7

- *「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅
- 注8 グローバルREIT指数 : S&PグローバルREIT指数(配当込み)
- 注9 香港オーストラリアREIT指数 : S&Pの各地域/国REIT指数(配当込み、現地通貨ベース)

北 米	為替(米ドル・インデックスを除き、対円)	先週末	騰落率(%)				
			週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	25年末比
北 米	米ドル・インデックス	98.10	▲0.6	▲1.3	▲0.3	▲1.3	▲0.2
	米ドル	158.64	▲0.4	0.3	5.3	11.4	1.2
	カナダ・ドル	115.88	0.7	2.0	7.9	12.6	1.4
欧州	ユーロ	186.63	▲0.0	1.8	6.4	15.3	1.4
	英ポンド	214.42	▲0.0	1.3	6.1	13.5	1.5
	スイス・フラン	202.85	0.4	3.0	6.7	16.8	2.6
	スウェーデン・クローナ	17.31	0.8	1.0	8.5	16.9	1.7
	アイスランド・クローネ	1.299	▲0.4	3.6	4.8	16.5	4.1
	ノルウェー・クローネ	16.92	1.2	8.0	13.0	24.5	8.9
	デンマーク・クローネ	24.97	▲0.1	1.7	6.3	15.2	1.4
アジア・オセアニア	中国人民元	23.24	▲0.4	2.4	10.0	19.1	3.5
	香港ドル	20.25	▲0.4	▲0.1	4.5	10.4	0.6
	台湾ドル	5.02	0.3	0.2	2.5	14.5	0.7
	韓国ウォン(100ウォン当たり)	10.86	1.1	1.2	2.5	8.0	0.1
	シンガポール・ドル	124.92	▲0.1	1.8	7.5	15.0	2.5
	マレーシア・リンギ	40.26	0.2	3.3	13.7	24.3	4.4
	タイ・バーツ	4.97	▲0.1	▲1.3	8.0	16.3	▲0.1
	インドルピー(100ルピー当たり)	0.923	▲0.9	▲1.4	1.6	9.0	▲1.7
	フィリピン・ペソ	2.652	▲0.1	▲0.5	3.1	5.1	▲0.1
	バングラデシュ(100トナ当たり)	0.600	▲0.8	▲0.2	5.1	9.1	0.8
中 南 米	インドルピー	1.70	▲1.0	▲2.3	▲0.7	1.9	▲2.6
	オーストラリア・ドル	113.83	1.1	7.7	16.3	25.1	8.9
	ニュージーランド・ドル	93.36	0.4	2.6	8.3	9.8	3.4
	ブラジル・レアル	31.86	0.1	8.2	14.4	29.9	11.8
	メキシコ・ペソ	9.16	▲0.5	2.1	11.8	26.7	5.3
	コロンビア(100ペソ当たり)	4.42	0.8	3.3	12.4	33.7	6.5
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	18.08	1.8	1.4	15.0	22.5	3.9
東 欧	ペルー・ヌエボ・ソル	46.18	▲1.7	▲1.9	3.6	20.8	▲0.9
	ポーランド・ズロチ	44.16	0.5	1.6	6.7	16.7	1.2
	ルーマニア・レイ	36.62	▲0.2	1.6	6.1	12.6	1.3
	トルコ・リラ	3.53	▲0.9	▲3.3	▲1.5	▲5.5	▲2.8
そ の 他	南アフリカ・ランド	9.73	0.4	1.0	12.1	28.5	2.7
	エジプト・ポンド	3.06	2.0	▲8.5	▲3.2	9.8	▲6.9

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高)

※右表の為替レートは原則としてニューヨークの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのデータもニューヨーク17時時点です。
※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。
※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

先週の主な出来事 (株式市場での反応を○、△、×の順で評価)

日付	市場の反応	国・地域	指標など(コメント)
4月13日(月)	×	世界	米国とイランの協議は合意に至らず 米国とイランは、戦闘終結に向けて11日と12日に協議したが、イランの核開発やホルムズ海峡の通航などに関して溝が埋まらず、合意に至らなかった。これを受け、トランプ大統領は12日、米海軍がホルムズ海峡を封鎖し、イランの船舶の出入りを制限すると表明した。13日には、欧米の原油先物が急騰したほか、アジアや欧州で株式相場が総じて下落した。日本や欧州の国債利回りは上昇し、日本の新発10年債では一時、2.490%と、1997年6月以来の高水準となった。
			トランプ大統領、イラン側は合意をまとめたがっている 3月の中古住宅販売件数は前月比▲3.6%の年率398万戸と、市場予想を下回り、2025年6月以来の低い水準となった。また、米海軍によるホルムズ海峡の封鎖が始まった。その後、トランプ大統領は、イラン側から電話があり、合意をまとめたがっていると述べた。株式市場では、売りが先行したが、トランプ大統領の言及を受け、原油先物の上げ幅が縮まったほか、主要3指数は引けでは上昇した。国債利回りは低下した。原油先物は、ニューヨークで一時、1バレル=105ドル台まで上昇したが、その後、上げ幅が縮まり、99ドル台で引けた。
14日(火)	○	世界	米国とイランによる協議再開への期待が広がる 米国とイランの協議再開に向け、関係国が調整を続けていると報じられた。日本や台湾、韓国で株式相場が大きく上昇するなど、アジアで総じて株高となった。日本の国債利回りは、入札が好調だったこともあり、低下した。中国では、3月の貿易統計(ドルベース)が発表され、輸出は前年同月比+2.5%と、市場予想を下回ったが、輸入は+27.8%と、予想を大きく上回った。中国本土・香港株式も、米国とイランの協議再開への期待などを背景に上昇した。
			トランプ大統領、イランとの協議を2日以内に再開する可能性を示唆 米国とイランが週末にも協議を行なう可能性があるとして一部で報じられた。また、ECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁はインタビューで、1-0圏経済は同行の基本シナリオと逆境シナリオの間にあるとの見解を示した。欧州では、同総裁の発言が利上げに否定的と捉えられたことなどから、国債利回りが低下した。株式相場は、米国とイランの協議再開への期待などから上昇した。米国では、トランプ大統領がイランとの協議を2日以内にパキスタンで再開する可能性を示唆した。国債利回りが低下したほか、株式相場は続伸した。外国為替市場ではドルが売られ、円相場は1ドル=158円台に上昇した。また、原油先物が急反落した一方、金先物はドル安などを受けて反発した。
15日(水)	○	アジア	米国とイランによる交渉の進展期待が広がる 米国とイランの交渉の進展期待に加え、前日の米株高、特に半導体株指数の最高値更新が好感されたこともあり、日本や台湾、韓国の株式相場が続伸した。日本の国債利回りは、原油先物の下落に伴ない、円懸念が後退したことなどから低下した。また、中国本土株式は、翌日にGDPなどの発表を控え、様子見気分が強い中、ほぼ横ばいとなった。香港株式は上昇した。
			イランとの交渉進展が期待されたほか、決算発表シーズンの好調な滑り出しが好感される 4月のニューヨーク連銀製造業景気指数は前月比+11.2ポイントの11.0と、市場予想を大きく上回り、2025年11月以来の高い水準となった。欧州では、中東情勢を見極めたいとして、投資家の様子見姿勢が強く、株式相場が総じて反落したほか、国債利回りは上昇した。米国では、同国とイランが、翌週に期限が切れる停戦について、2週間の延長を検討していると報じられた。また、金融大手から、市場予想を上回る1-3月期決算が相次いで発表された。米国とイランの交渉進展への期待や決算発表シーズンの好調な滑り出しなどを背景に、S&P500、ナズック総合の高指数が最高値を更新した。ただし、ニューヨークダウ工業株30種は、持ち高調整や利益確定の売りなどから小反落した。国債利回りは上昇した。
16日(木)	○	アジア	中国の1-3月期GDPは市場予想を上回り、3四半期ぶりの高い伸び 中国では、1-3月期のGDPが前年同期比+5.0%と、市場予想を上回り、2025年4-6月期以来の高い伸びとなった。また、3月の鉱工業生産が前年同月比+5.7%と、予想を(右上に続く)

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

17日(金)	○	米国	イスラエルとパキスタンが停戦で合意、トランプ大統領は週末にイランと2回目の協議を行なう可能性を示唆 4月のフィデリティ連銀景気指数は前月比+8.6ポイントの26.7と、市場予想に反して上昇し、2025年1月以来の高い水準となった。また、11日までの週の新規失業保険申請件数は20.7万件と、予想を下回った。欧州では、株式相場が再び好調となった。国債利回りは、1-0圏では利上げ観測の後退などを背景に総じて低下したが、英国では、2月のGDPが市場予想を上回ったことなどから上昇した。また、湾岸諸国や欧州の一部指導者の見方として、米国とイランが平和合意に至るまでに約6か月を要すると、一部で報じられた。その後、トランプ大統領は、イスラエルとパキスタンが10日間の停戦で合意したとSNSに投稿した。さらに、同大統領は、イランとの2回目の協議を週末に開く可能性に言及した。半導体やソフトウェアなどのハイテク株をけん引役に株式相場が続伸した。国債利回りは、堅調な経済指標の発表や原油先物の続伸などを受けて上昇した。外国為替市場ではドルが買われ、円相場は159円台に下落した。原油先物は、米国とイランの交渉が進展しても、ホルムズ海峡での航行停滞は続くとの見方などから上昇した。
			日銀の植田総裁、中東情勢の緊迫化を踏まえた政策判断は非常に難しい 日本や台湾、韓国では、半導体関連株を中心に利益確定売りが拡がり、株式相場が反落した。日本の国債利回りは上昇した。中国本土・香港株式も、利益確定売りなどから反落した。また、日銀の植田総裁は会見で、日本の金融環境は緩和的と述べたが、中東情勢の緊迫化を踏まえた政策判断は非常に難しいとして、今後の方向性を示さなかった。日銀が4月にも利上げするとの観測が後退したことなどから、円相場が対1-0で下落し、一時、111-0=187円95銭前後と、1999年の1-0導入以降の最安値を更新した。
17日(金)	○	世界	イラン外相、イスラエルとパキスタンの停戦期間中はホルムズ海峡を開放 イランの外相は、イスラエルとパキスタンの10日間の停戦期間中はホルムズ海峡を開放するとSNSに投稿した。これを受け、原油先物が急落し、欧米の株式相場が上昇した一方、国債利回りは低下した。外国為替市場ではドルが売られ、円相場は一時、157円台半ばまで反発した後、158円台で推移した。原油先物は、ニューヨークで83ドル台と、3月10日以来の安値で引けた。一方、金先物は買われた。なお、トランプ大統領はインタビューで、イランが核開発計画を無期限で停止することに合意したと述べ、同国との協議が週末にも開かれるとの見方を示した。

今週の主な注目点 (高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考)

日付	注目度	国・地域	指標など(コメント)
21日(火)	高	米国	3月の小売売上高 2月は、全体で前月比+0.6%、コアでは+0.5%だった。3月はそれぞれ、+1.4%、+0.2%と見込まれている。
			4月のPMI(購買担当者指数)速報 3月は、製造業で51.6、サービス業で50.2、総合平均で50.7だった。4月の予想はそれぞれ、50.9、49.8、50.1となっている。同指数は50が好・不調の境目。
23日(木)	高	1-0圏	3月の消費者物価指数(除く生鮮食品) 2月は前年同月比+1.6%だった。3月は+1.7%と予想されている。

上記のほか、米国では、次期FRB(連邦準備制度理事会)議長に指名されたウォシムFRB理事の上院銀行委員会・公聴会が21日に開かれるほか、企業の1-3月期決算発表が続く。日本でも、企業の決算発表が本格化する。また、欧州では、EU(欧州連合)首脳による非公式会議が23・24日に開催される。